



## くすりの飲み方

No.64

歯科で薬を処方されることはよくあります。「これは化膿止めです」「これは痛み止めです」などと、歯科医院の窓口や薬局の薬剤師さんから薬を渡されます。その時に「1日3回、毎食後飲んでください」とか「痛む時に飲んでください」などと服用方法の指示が出ます。皆さんは果たしてその支持通りに薬を飲んでいるでしょうか？

### 抗菌剤の服用の注意

細菌感染が原因と思われる症状がある場合、通常、**抗菌剤**(化膿止め、腫れ止め、抗生物質)が処方されます。その多くは「1日3回」「1日2回」(最近では1日1回というものも出てきました)服用という指示が出されます。これは飲んだ抗菌剤が胃や腸から吸収され、それが血液中に入り、全身に一定濃度で持続的に行き渡らせるために必要な用法なのです。抗菌剤はある一定濃度を保つことでその効果が引き出されます。

薬の飲み忘れは一時的に血中濃度を下げることになり、その結果細菌は再び増殖し、症状の改善が遅れてしまいます。また、抗菌剤を飲んだり飲まなかったりという服用の仕方をしてしていると、細菌に耐性(薬に対する抵抗力)が出来てしまい、薬のきかない細菌が出てきてしまいます。指示



**通りに服用することが症状の改善を早くするひとつの方法なのです。**

時々「8時間毎服用」という指示が出ることがあります。指示通りに服用すると、例えば1回目12時、2回目20時、3回目には4時となってしまいます。もしもこの時間が睡眠中であつたとしたら、わざわざ起きて薬を飲む必要があるでしょうか？答えはNOです。

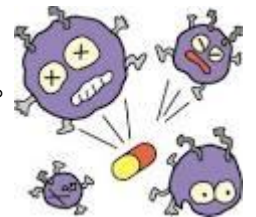
これは薬を規定時間に飲むことよりも、睡眠による体力や免疫力の回復の方が有利に働くからです。基本的にはあまり時間にとらわれず「毎食後服用」したほうがいいでしょう。



### 鎮痛剤の服用の注意

**鎮痛剤**(痛み止め、炎症止め)は頓服(とんぷく:痛みが強い時に飲む)で処方されます。「疼痛時服用」などと処方箋には記されます。一般に鎮痛剤は6~8時間効力が持続しますので、痛みが続く場合は6~8時間ごとに服用します。しかし炎症が強く、服用しても効かない、すぐに効果が切れるなどの場合は、その痛みに耐える身体へのストレスを考えると短時間で再服用せざるを得ません。鎮痛剤は長期間にわたり大量に服用すると重篤な副作用をもたらす、非常に危険な薬です。痛みが激しく、連続で服用する場合は、**可能な限り時間を空け(最低3~4時間)服用**する方が望ましいでしょう。

抗菌剤も鎮痛剤も服用によってお腹を壊したりすることがあります。その場合は市販の胃薬を併用するとよいでしょう。また空腹時の服用はできるだけ避けましょう



薬はその用法用量を誤ると非常に危険なものとなります。正しく服用することが少しでも早い治癒につながります。また、服用して異常が出た場合は直ちに服用をやめ、担当医か薬剤師に相談するようにしましょう。



一般社団法人  
**柏歯科医師会**



<http://kashiwa.cda.or.jp/>  
Email : [kda@kamukamu.or.jp](mailto:kda@kamukamu.or.jp)